

## 映像『豊岡絵巻』映文連アワード2016 部門優秀賞を受賞【報告】

豊岡市が制作し、映像作家藤原次郎氏が撮影した「豊岡絵巻」が映文連アワード2016で、コーポレート・コミュニケーション部門の部門優秀賞を受賞した。

### 映文連アワード2016

「プロフェッショナルが選ぶ、プロフェッショナルの仕事にふさわしい作品」を積極的に発掘・顕彰することによって、短編映像業界の活性化を図るとともに、次世代を担う新しい才能（学生・個人）を発掘することを目的に開催されている。今年で10回目となる。

(1) 主催

(公社)映像文化製作者連盟

(2) エントリー数

「コーポレート・コミュニケーション部門」「ソーシャル・コミュニケーション部門」「パーソナル・コミュニケーション部門」の3部門に、計169作品がエントリー。

## 1 受賞内容

### (1) 「コーポレート・コミュニケーション部門」部門優秀賞

企業のアウター・ブランディング、インナー・ブランディングなどを目的とし、産業または企業文化を伝えるための作品（企業紹介映像・企業広報映像・施設紹介映像など）部門。

### (2) 受賞作品「豊岡絵巻」

**ア 制作**

豊岡市

**イ 撮影**

藤原次郎氏

**ウ 内容**

城崎温泉、竹野ジオカヌー、城下町出石、神鍋高原など、市内の四季折々の風景や行事をまとめた映像作品

**エ 映像時間**

3分45秒

**オ 公開状況**

市ホームページ、YouTubeで公開

**カ その他**

11月21日に国立新美術館講堂（東京都港区）で授賞式が行われ、11月25日には、ユーロライブ（東京都渋谷区）で各部門受賞作品の上映および受賞者などによるトークセッションが行われた。

## 2 藤原次郎氏のコメント

日本の名だたる制作会社が競うこのアワードでの受賞は一映像制作者として大きな成果となりました。私は数年間、豊岡の情景をひたすら撮って、それを「豊岡絵巻」にまとめました。やはり豊岡の情景の素晴らしさが評価されたと信じています。

## 〈プロフィール〉

### 1 藤原次郎

大阪府茨木市在住、朝来市和田山町出身。カメラを据え置き、長い時間まわしっぱなしにする独特の撮影法で、まるで風景をスケッチするように撮影。見る人が、あたかもその風景の中に身を置いていると錯覚するような作品が多い

#### (1) 受賞歴

年	内容	作品
2016	ワールド・メディアフェスティバル【独】 旅行観光 PR 映像部門「金賞」(部門一位)	「豊岡絵巻」
2015	ワールド・メディアフェスティバル【独】 インターメディアグローブ銀賞(カテゴリー2位)	「生野スケッチ」
2014	日本自費出版文化賞 佳作	写真集「田平線」
2013	ワールド・メディアフェスティバル【独】 広報(建築)部門金賞・スペシャルアワード	「A Scene of Architecture ある建築の情景」兵庫県木の殿堂
	広報(建築・旅行)部門銀賞	「城崎スケッチ」豊岡市
	テリーアワード【米】 観光・旅行部門ファイナリスト賞	「城崎スケッチ」豊岡市
	とよおか景観大賞 2013	
2012	ワールド・メディアフェスティバル【独】 広報(その他)部門銀賞	「風の教会」
2009	モントリオール映画祭【加】入選	「MATSUTANI 1」
	ワールド・メディアフェスティバル【独】銀賞	「天神橋のイエ」
2008	ワールド・メディアフェスティバル【独】 金賞・スペシャルアワード	「MATSUTANI 1」
2007	ワールド・メディアフェスティバル【独】銀賞	「METAL OFFICE」
2006	テリーアワード【米】 一般部門ウィナー賞	「但馬スケッチ」
	文化部門ファイナリスト賞	「但馬スケッチ」
2004	ワールド・メディアフェスティバル【独】銀賞	「ハートフルシティーオオサカ」
	テリーアワード【米】 文化部門ファイナリスト賞	「ハートフルシティーオオサカ」
2003	ワールド・メディアフェスティバル【独】金賞	「Home in TAJIMA」
	テリーアワード【米】ウィナー賞	「Home in TAJIMA」
2001	ワールド・メディアフェスティバル【独】金賞	「六甲の山荘」
	テリーアワード【米】ファイナリスト賞	「六甲の山荘」
	インターナショナル・ビデオ&フィルムフェスティバル【米】佳作	「六甲の山荘」
2000	ITVA ビデオコンテスト【日】グランプリ	「映像伝承 内藤邸」

〔問合せ〕豊岡市環境経済部大交流課 TEL 0796-21-9016